

従来の三次元測定機と比較して、小サイズ化・軽量化を実現。測定スピードは約3倍の高速化に成功。

概要 測定業務の精度向上と測定時間短縮を可能にし、国家標準とトレサビリティ向上を実現するシステムを低価格で実現

本事業への取り組みの経緯

創業8年の弊社は、工業製品の測定機器を駆使して部品の測定、専用ソフト開発などを生業としてきた。この間（独法）産業技術総合研究所、東京都立産業技術研究センター、東京電機大学、(株)ミットヨなどの組織と協調し、様々な製品を開発し市場での信頼を得てきた。この技術を基に、さらに部品製造業界の品質保証に貢献できる事業として小型機器測定に特化したEQUATOR導入と動作完成の試作開発を目指した。

事業概要

EQUATOR本体は、業界初の平行リンク構造の採用で、従来の測定機に比べ圧倒的に小型・軽量、かつ高速測定が可能になる。今回の取り組みは、今まで不可能だった製造ライン内への自動汎用測定検査の導入を可能にする画期的なシステムである。EQUATOR本体は完成していたが、機能させる周辺機器・ソフトが未完成であり、完成には特化した技術、複数のソフト対応等をクリアーさせ完成することが今回の事業である。

1. 測定評価は国家標準のトレーサが必要であり、精度の信憑性はもちろん価格においてもユーザの要求に対応するとともに、現場で算出される大量の測定データを迅速に処理し、まとめることが要求される。
2. 自動車業界では、リコール対策、歩留り

向上のための品質アップを図り、その精度と業務スピードのアップを、製造現場にて具現化することが求められている。このような革新的技術開発を国内で完遂できれば、国内の他社はもちろん海外のライバルメーカーに対しても大きな競争力の強化となる。



EQUATOR300ゲージングシステム EQUATORワゴン用



CMMレトロフィット改造

事業成果

測定機器、治具、ソフト、評価方法を新構築することにより、部品製造現場での測定業務の精度向上と測定時間短縮を可能にし、国家標準とトレサビリティ向上を実現するこの

技術サービス業 株式会社トレサ

代表取締役 久保田 光治
●所在地/〒500-8384
岐阜県岐阜市数田南1丁目8番4号
●TEL/0585-23-1015 ●FAX/058-214-7001
●設立/平成20年10月16日
●資本金/600万円 ●従業員数/10人
http://tresaco.jp
e-mail: info@tresaco.jp

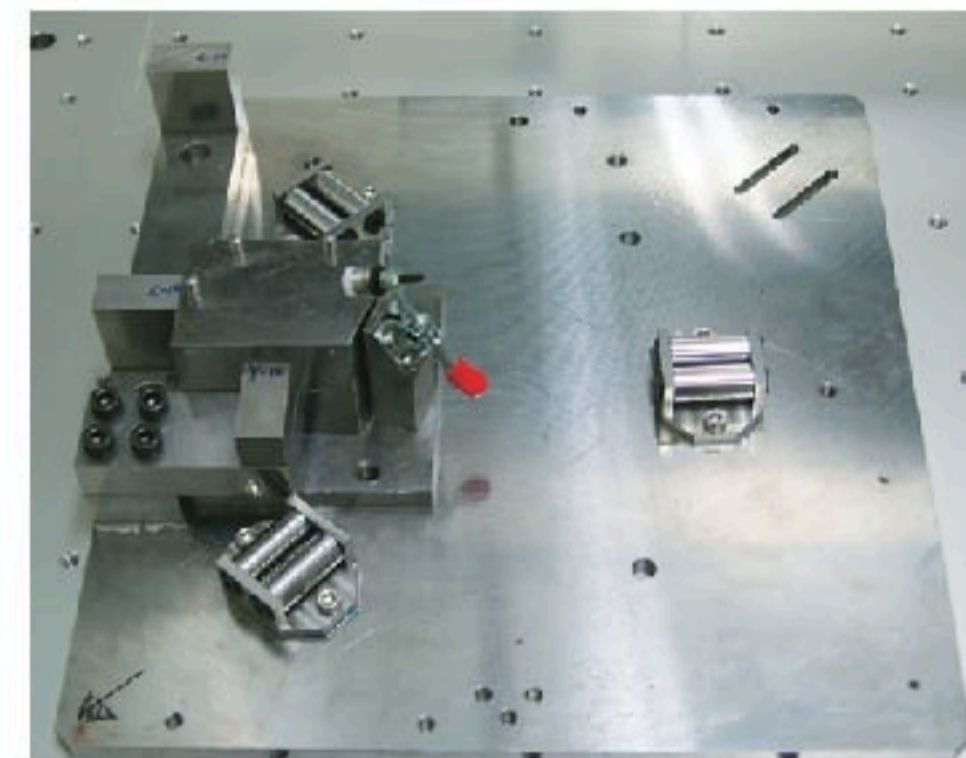


代表取締役
久保田 光治

企業概要

測定ソリューション・ソフト開発、測定システム販売、校正サービスなどを幅広く手掛ける検査システム構築のトータルサポート企業。JIS規格に整合する高い検査制度と手軽で短時間な検査を両立する「ディメンションマスターキット」、異なるファイル形式が出力される様々な測定機器の検査結果をデータベース化する「メジャートレーサー」など、独自のソリューションを世の中に数多く輩出している。

システムが低価格で実現できた。



測定ワーク用治具



最終検査装置KOGAME

- ①三次元測定機と比較して、小サイズ・軽量・測定スピードが高速。
- ②製造現場での途中検査の実測定が可能となり、不具合の事前予測、不具合低減、歩留まり改善が具現化できる。（今まで実測定は、現場以外の測定室などで行い、タイムリーに測定できなかった）
- ③測定スピードが三次元測定機と比較して約3倍となる。
- ④三次元測定機と比較して、省スペース・軽量化となりユーザビリティが上がる。
- ⑤部品製造業企業の【原価低減】、【市場ク

レーム低減】を可能にできる。

*測定範囲

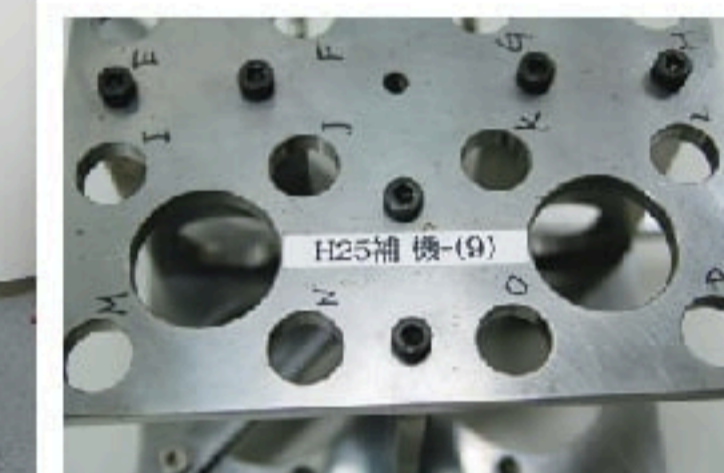
従 来
三次元測定機：min400mm(x)×500(y)×400(z)

試作開発後

EQUATOR：max300mm(x)×300(y)×200(z)



最終検査装置関連



整合性検証ホールマスター

成果の活用状況

(補助事業実施後の取り組み)

自動車、家電、電気などの製造系企業、航空機業界の各社より問い合わせが来ており、一部の自動車関係の企業で運用テストが始まっている。採用となれば、製造ラインに採用され、ひとつの工場で数十台程度のニーズが見込める情報を得ており（自動車関連大手企業5社より）、海外メーカーに対する競争力強化が期待できる。